

2022.8月

もいのものがたい

夏期号

100年後の^{みどり}森林のために

第20号



◎ 千手小学校のケヤキ (嘉麻市千手) ◎

明治36年に千手小学校の校舎が新築された際に記念として植栽されたもので、平成9年に嘉穂町(現 嘉麻市)の天然記念物に指定されました。

樹高 約30メートル
推定樹齢 約120年

第10回 通常総代会

令和4年7月28日、クリエイト篠栗において第10回通常総代会を開催しました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面議決書による議決権の行使にご協力いただき、総代本人様の出席数を最小限に抑えて実施しました。総代定数250名に対し、出席は245名（本人11名、書面議決234名）で本総代会が成立しました。

議長には、貝原雅俊様（糟屋支店須恵町地区）が選任され、貝原議長の進行の下、令和3年度の事業報告及び令和4年度の事業計画書等7件の議案が提出審議され、全議案とも原案通り可決されました。



議長
貝原 雅俊様



ついては、組合員皆様へ出資配当金と事業分量配当金の支払い手続きを行ないます。（詳細につきましては、次頁剰余金処分計算書、本誌に同封しております）

ます通知書をご確認ください。

また、任期満了に伴う役員改選では、新理事11名、監事3名を選任されました。



吉村 組合長

総代会の開催にあたり、吉村代表理事組合長は「令和3年度から令和7年度までを事業期間とする第2次中期経営計画の初年度でありました令和3年度につきましては、昨年春以降、いわゆる『ウッドショック』と云う言葉で表現されています。国産材の価格上昇等となり、

組合事業推進に大きな追い風となりました。計画に対し事業総収益では117%、1,752,148千円、事業総利益では、125%の690,154千円の実績となり、合併以来の最高利益を確保することができました。今回の提出議案をご審議の上、ご承認をいただきますと、合併以来の念願でありました出資配当及び事業分量配当を初めて実施することになります。これもひとえに組合員皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。」と述べました。

提出議案

- 《第1号議案》 令和3年度事業報告書承認の件
 - 《第2号議案》 令和4年度事業計画書決定の件
 - 《第3号議案》 令和4年度役員報酬決定の件
 - 《第4号議案》 令和4年度借入金最高限度額決定の件
 - 《第5号議案》 一組合員及び員外に対する貸付金の最高限度額決定の件
 - 《第6号議案》 余剰金預入先決定の件
 - 《第7号議案》 役員選任の件
- 附帯決議



左から 渡 久行様、白井 正臣様、加納 恵子様
(代理 加納 富士彦様)

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、第8回通常総代会以降表彰行事を見送っておりましたが、今年度は組合役員として長年ご尽力いただいた3名、組合職員として長年勤務に精励され退職された2名、森林組合の作業員として貢献された2名の方々、合計7名に対して、組合長から感謝状と記念品が贈呈されました。

表彰者名簿	
永年勤続賞の部	
〔役員〕	渡 久行 (理事・古賀市)
	白井 正臣 (代表理事組合長・飯塚市)
	加納 恵子 (理事・嘉麻市) (故人)
〔職員〕	松田 隆春 (福岡北支店長)
	築地 山治 (参事)
功労賞の部	
〔作業員〕	真鍋 正次 (那珂川市・真鍋林業)
	森実 淡二 (筑紫野市・グリーンサム)



真鍋 正次様

※()内は、退任・退職時の役職名、所属名等

貸借対照表 (令和4年5月31日現在)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,372,697	流動負債	283,720
有形固定資産	398,728	固定負債	241,980
無形固定資産	4,606		
外部出資	68,750		
その他固定資産	77,906		
資産合計	1,922,688	負債合計	525,701
		組合員資本	
		出資金	831,691
		法定準備金	114,856
		任意積立金	312,439
		当期末処分剰余金	129,137
		資本準備金	8,862
		純資産合計	1,396,987
		負債及び純資産の合計	1,922,688

令和3年度 剰余金処分計算書

適用	金額
当期末処分剰余金	129,137
剰余金処分数額	101,165
1 法定準備金	20,000
2 任意積立金	61,440
3 出資配当金	16,633
4 事業分量配当金	3,091
次期繰越剰余金	27,972

※単位未満の数値を切り捨てて表示していますので、加減した数値は一致しない部分があります。

損益計算書 (自令和3年6月1日 至令和4年5月31日)

科目	金額
事業総利益	690,154
1 指導事業	収益 12,452 費用 6,287
2 販売事業	収益 384,705 費用 225,096
3 加工事業	収益 32,688 費用 22,000
4 森林整備事業	収益 1,322,300 費用 808,608
事業管理費	564,371
事業利益	125,783
事業外収益	13,055
事業外費用	102
経常利益	138,736
特別利益	24,531
特別損失	14,195
税引前当期純利益	149,071
法人税等合計	49,500
当期剰余金	99,571
前期繰越剰余金	8,125
高性能林業機械更新積立金取崩	21,440
当期末処分剰余金	129,137

今回の役員改選では、松原静雄副組合長理事（筑紫野市）、石井光則理事（糸島市）、筑紫利英理事（岡垣町）が退任され、新たに松藤公元理事（糸島市）、井上剛士理事（筑紫野市）、石津祐資監事（福岡市）が選任されました。

（総代会終了後の理事会、監事会において互選が行われ各役職が選出されました。）

新執行体制

役職	氏名	地区名
代表理事 組合長理事	吉村 幸一	福岡市
副組合長 理事	横田 進太	全地区
副組合長 理事	的場 英敏	宗像市
理事	三浦 正	篠栗町
理事	久芳 菊司	久山町
理事	松藤 公元	糸島市
理事	井上 剛士	筑紫野市
理事	築地 正輝	那珂川市
理事	石津 祐資	宮若市

新役員紹介

理事	嶋田 孝志	嘉麻市
理事	横山 武城	飯塚市
代表監事	野見山 修	嘉麻市
監事	印藤 勝人	須恵町
監事	石津 祐資	福岡市



石津監事



井上理事



松藤理事

令和4年度事業計画について
令和4年6月1日から
令和5年5月31日まで

令和4年主要事業の計画は次のとおりです。

◆販売事業

素材生産事業は当組合の主要事業と定めており、森林経営計画の確実な実行と樹立面積を積極的に増やすとともにICT化及び高性能林業機械等を有効活用しながら効率的な木材生産を行い組合員の皆様に利益還元が出来るよう努めます。

◆森林整備事業

福岡県森林環境税による荒廃森林整備事業及び治山事業は事業地の調査、確保に協力し、森林環境譲与税については、市町と連携をさらに深め森林管理制度による森林整備を着実に進めてまいります。主伐跡地については、植栽を行い獣害対策及び下刈等の森林整備を行い確実に森林の更新に努めます。

◆利用事業

海岸防災林の病害虫防除事業、地域の環境整備事業として草刈、支障木の伐採等の事業受注に努めます。

◆加工事業

公共建築物等の木造・木質化事業に地域産材の利活用が図られるよう関係機関と諸事調整を行い製材品の供給体制に努めます。そのためにも製材加工センター施設の整備を進めてまいります。

◆林業労働災害

関係法令を遵守し協力事業体を含め労働安全衛生研修会、安全パトロール等各種災害防止活動を強化しながら、各関係機関の指導を仰ぎ、労働災害の撲滅に努めます。

◆コンプライアンス

職員の資質向上のため各種資格取得の推進、情報の共有化を図るとともに、コンプライアンス態勢を一層確立するため研修会等の実施や外部関連研修会等への参加を行います。

初代組合長
中村 晴男氏
春の褒章を受章

令和4年春の褒章にて、当組合の初代組合長である中村晴男氏(那珂川市)が「黄綬褒章」を受章されました。

中村氏は、昭和32年に那珂川町森林組合の前身である南畑森林組合に入職、平成8年に同組合の代表理事組合長に就任し、堅実な組合運営に尽力されました。また、この間には、近隣の筑紫野市森林組合、前原市森林組合、二丈町森林組合との合併について平成18年の福岡広域森林組合の設立に尽力されるとともに、初代表理事組合長に就任されました。

黄綬褒章
業務精励(林業)



中村 晴男 氏

その後、平成25年4月1日を目標に11森林組合が合併を目指した「福岡県広域森林組合」発足に向けた準備に着手され、森林組合の組織・財政基盤の安定化、林業従事者の育成・確保など様々な視点から協議を重ね課題を解決、見事合併を成功させ、初代表理事組合長として経営・指導に当たられ、組合の発展に大きく貢献されました。長きにわたり、地域林業の振興および福岡県の林業の振興に果たされた功績は大きく、この度の受章となったものです。この栄誉をお祝い申し上げますとともに、これからも組合運営にご指導を賜りますようお願い致します。



本店にて吉村組合長とともに

職員研修
を行いました

リスクアセスメント導入に
かかる集団指導会

林業においてもリスクアセスメントの導入が重要な課題となっており、当組合におきましても労働災害防止対策として「危険をよみ、災害の芽をつむ」ための効果的な手法としてリスクアセスメントの推進を図っています。

安全衛生活動を担当者に任せきりにせず、管理者から現場の作業者までが参加しリスクアセスメントを継続的に実施していくことで、労働災害撲滅に取り組んでまいります。



森林技術員を中心に各支店長・次長を交え、グループごとにリスクアセスメントを実践・発表しました。

職員研修会
4月27日及び28日開催

本年度のコンプライアンス研修として人権啓発ビデオの視聴や令和4年4月よりパワーハラスメント防止措置が中小企業について義務化されたことに伴う関係法令の改正内容、就業規則等の変更及び改正道路交通法に対応した飲酒運転対策としてアルコールの基礎知識等について研修を実施しました。

また、福岡県森林組合連合会の渡辺参事を講師に招き、「協同組合としての森林組合系統の意義と役割について」と題してご講義いただきました。



渡辺参事による講義

令和4年度 職員配置図



◇…4月1日辞令交付対象者 ◆…6月1日辞令交付対象者

※令和4年8月1日現在



本店

- (組合長) 吉村 幸一
- (参事) 菊次 憲二
- 総務部**
- (部長) 鍵山 利恵
- 事業部**
- (部長) 佐々木 浩昭
- 総務課**
- ◆(課長) 野中 憲二郎
- 総務係**
- ◆(主任主事) 渋谷 有美
- (主事) 北崎 裕美
- 経理係**
- (主事) 小金丸 湧斗



篠栗町中央 2-2-13

糟屋支店

- ◆(支店長) 尾塚 卓司
- (次長) 品原 高規
- 総務係**
- ◆(係長) 宮崎 優子
- 森林整備係**
- ◆(技師) 高田 一樹
- (技師) 前田 大地
- (臨時) 今任 啓一
- 林産係**
- ◆(係長) 川口 努
- (技師) 柿原 良祐

- 森林技術員**
- (班長) 辻 新平
- (班長) 阿比留 貴博
- 山口 貴臣
- 月野 敦史
- 鮎川 義正
- 堀尾 義泰

福岡南支店

- (支店長) 石橋 義朗
- ◆(次長) 秋山 敦津子



那珂川市埋金 8 3 5 - 2

- 総務係**
- ◆(係長) 山口 美恵
- 森林整備係**
- (係長) 潮 敦仁
- (主任技師) 池田 洋輔
- 林産係**
- ◆(係長) 板橋 奈央
- ◆(主任技師) 藤野 真吾
- (技師) 片江 文雄

- 製材加工センター**
- (センター長) 山本 磨
- 新原 茂文
- 森林技術員**
- (班長) 手嶋 孝洋
- 淀川 堯之
- 左座 憲太郎

嘉飯山支店

- (支店長) 内田 守圭
- ◆(次長) 樋口 圭



嘉麻市大隈町 1 7 6 6 - 4

- 総務係**
- (係長) 野見山 久恵
- 森林整備係**
- (係長) 品原 早希
- (臨時) 足田 かおり
- 林産係**
- (係長) 萩尾 憲治

- 機械整備センター**
- (センター長) 小山 洋一
- (係長) 梶井 辰徳
- 森林技術員**
- ◆(班長) 伊藤 一也
- ◆ 小金丸 善敬
- 二宮 寛
- ◇(新規採用) 永田 大歩
- (直用) 田中 昭二

筑紫野支所

- (支所長) 山田 久能
- (係長) 柴戸 慶介
- (主事) 真鍋 智子



筑紫野市石崎 1 - 1 - 3

飯塚支所

- ◆(支所長) 堀江 信
- (係長) 住田 健一郎
- (技師) 野上 敏康



飯塚市長尾 1 2 5 0 - 3

新支店長紹介



糟屋支店長
尾塚 卓司

6月の人事異動により糟屋支店長を仰せつかりました尾塚卓司でございます。

平成25年4月の広域合併時に入組し、福岡北支店にて森林整備事業・林産事業に携わってきました。

糟屋支店管轄地域は都市近郊でありながら自然豊かな場所であり、土砂流出防止や水源涵養等の山林の持つ多面的機能を保持していく事は重要な責務だと思っております。14名の職員全員で知恵を出し合い、「豊かな森林を未来に引き継ぐ」の基本理念に基づき第2次中期経営計画の目標達成に尽力してまいりますので、組合員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宗像支

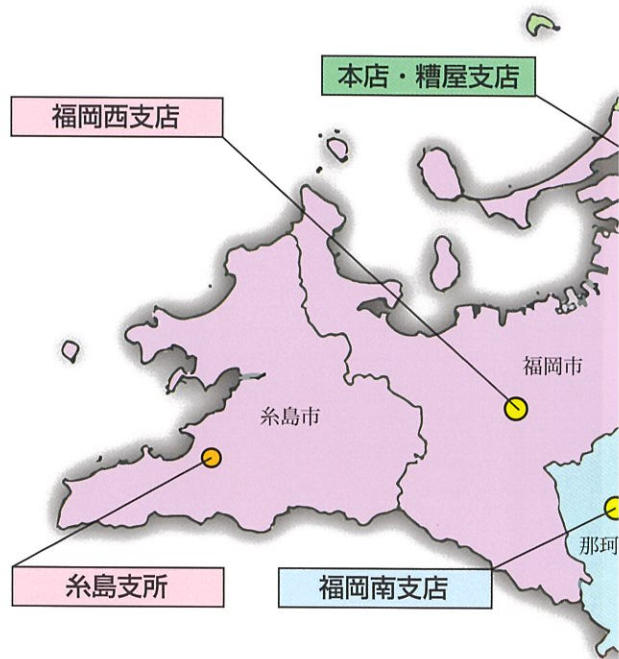
福岡北支

新規職員紹介



ながた ひろむ
氏名 永田 大歩
所属 嘉飯山支店 森林技術員
趣味 釣り、キャンプ、植物育成、車

初めての事で分からない事ばかりですが、少しでも早く仕事を覚え、先輩達に教えてもらった事を自分のものにして一日でも早くチームの一員になれるように頑張ります。一日一日を大切に、日々成長できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



福岡北支店



宮若市福丸252-2

- (支店長) 猪 又 好 浩
- ◆(次 長) 石 原 真 男
- 総務係
- (主 事) 吉 武 美 佐
- 森林整備係
- ◆(係 長) 田 中 啓 嗣
- (技 師) 岩 下 祐 太 朗
- (技 師) 西 将 之
- 林産係
- ◆(係 長) 成 清 良 輔 子
- (技 師) 藤 田 涼 子

- 森林技術員
- ◆(班 長) 木 下 隆 男
 - 吉 武 春 臣
 - 花 田 博 幸

福岡西支店



福岡市西区金武2127-2

- (支店長) 松 村 角 朗
- (次 長) 姫 野 聡

- 総務係
- ◆(主任主事) 松 岡 裕 美
- 森林整備係
- (技 師) 濱 地 翔 太 樹
- ◆(技 師) 西 依 良 樹
- (臨 時) 中 村 賢 治
- 林産係
- (係 長) 佐々木 絢 子 大
- (技 師) 上 原 湧

- 森林技術員
- (班 長) 元 倉 義 博
 - 高 田 羽 道
 - 堀 真 道

宗像支所



宗像市東郷2-1-43-104

- ◆(支所長) 上 野 紀 昭
- ◆(技 師) 加 納 慶 一
- (主 事) 山 本 由 美 子

岡垣支所



岡垣町野間1-1-1

- ◆(支所長) 石 原 真 男(兼)
- (囑 託) 辻 扶 美

糸島支所



糸島市前原駅南2-24-5

- ◆(支所長) 福 井 淳 平
- (主任技師) 楠 本 高 正
- (主任技師) 中 島 圭 一
- (主 事) 小 金 丸 福 美

理事会報告

《令和3年度》

第4回(令和4年1月28日)

◎付議事項

- 第1号議案
令和3年度上期決算について
 - 第2号議案
令和3年度事業修正計画について
 - 第3号議案
総代選挙の実施について
 - 第4号議案
令和3年度支店業務監査報告について
 - 第5号議案
規程制定について
 - 第6号議案
固定資産の処分、取得について
 - 第7号議案
理事との契約について
- ◎報告事項
- ①総代地区別座談会報告について
 - ②理事との契約について(完了等の報告)
 - ③福岡県及び福岡市に対し原田加工場施設処分に係る補助金相当額の納付について 他

第5回(令和4年3月3日)

◎付議事項

- 第1号議案
総代選挙 選挙管理者等の選任について
 - 第2号議案
森林組合系統運動方針「JForest福岡県広域森林組合ビジョン2030」について
 - 第3号議案
規程の制定及び改正について
 - 第4号議案
国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧公団)との分収造林契約の変更について
 - 第5号議案
森林技術職員独立支援について
- ◎報告事項
- ①監事による支店業務監査意見に対する改善状況について
 - ②森林環境譲与税を活用した森林整備の推進に係る要望書について 他

第6回(令和4年5月13日)

◎付議事項

- 第1号議案
役員改選について
- 第2号議案
令和3年度仮決算について
- 第3号議案
令和3年度末賞与の支給について
- 第4号議案
令和4年度定期昇給について

第5号議案 令和4年度暫定事業計画案について

◎付議事項

- 第6号議案
国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧公団)との分収造林契約の変更について
 - 第7号議案
第5回理事会報告された不適切事案に係る監査報告について
 - 第8号議案
出資口数の減少(組合員脱退及び減資申出)について
 - 第9号議案
理事との契約について
 - 第10号議案
固定資産の取得及び処分について
- ◎報告事項
- ①労災事故について
 - ②福岡市との協定締結について
 - ③総代選挙結果について 他

《令和4年度》

第1回(令和4年7月1日)

◎付議事項

- 第1号議案
第10回通常総代会について
- 第2号議案
令和4年度役員報酬(案)について
- 第3号議案
令和3年度事業報告について
- 第4号議案
令和4年度事業計画(案)について
- 第5号議案
夏期賞与の支給について

第6号議案 理事との契約について

◎付議事項

第7号議案 固定資産の処分について

◎報告事項

- ①管理職等人事異動について 他

第2回(令和4年7月19日)

◎付議事項

- 第1号議案
令和3年度第6回理事会(令和4年5月13日開催)監事監査報告に係る改善報告について

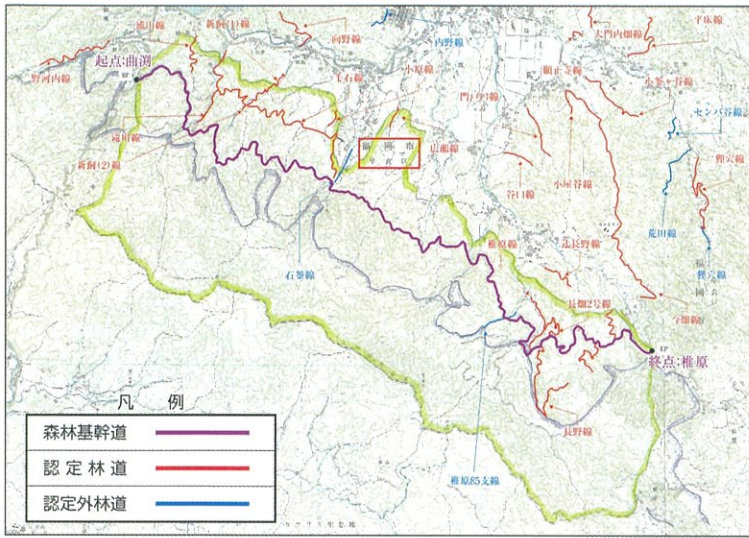
第3回(令和4年7月28日)

◎付議事項

- 第1号議案
代表理事組合長の選任について
- 第2号議案
副組合長理事の選任について
- 第3号議案
実践的能力理事の選任について
- 第4号議案
理事個別報酬の割り振り及び支給方法について
- 第5号議案
監事会からの報告について
- 第6号議案
総務委員会、事業委員会の構成について



森林基幹道「早良線」



令和3年4月に開通した森林基幹道「早良線」は、福岡市早良区の曲淵地区を起点とし、石釜地区、西地区を通過し椎原地区を終点とする。総延長15,257m・幅員5,0mの森林基幹道です。国庫事業にて平成9年度に着工、県単事業も活用し約24年間の歳月を経て完成となりました。

森林基幹道「早良線」が 開通しました



利用区域森林面積は、2,152haになり、この地域の路網の骨格となる林道です。また、森林施業の効率化、木材生産の向上を図り、地域林業を振興する上で不可欠な路線となり、「曲淵ダム」の上流に位置していることから、森林整備の促進による水源かん養機能の発揮にも貢献しています。

さらに、地域住民の生活道や災害発生時の迂回路として、地域の利便性の向上に加え、沿線にある「坊主ヶ滝」や「花乱の滝」などの景勝地へのアクセス道として活用され、観光客の増加など地域の活性化にも期待されています。



令和4年3月12日には、コロナ禍の影響により約1年遅れて、「早良広域基幹林道推進協議会」の主催にて、多数の来賓、大原弥寿男協議会会長以下委員、福岡西支店職員の協力のもと、無事に開通式典を執り行いました。

搬出間伐の工程って どんなもの？

当組合では、令和7年度までに「年間素材生産量6万m³」を達成することを目標に掲げ、間伐や主伐事業をおこなっています。今回は、搬出間伐の主な流れをご紹介します。

1 森林調査



森林内を歩き、図面を用いて地形を確認し、施業範囲に印を付けたり、立木の本数や直径・樹高等を調査し、木材の搬出量を見積ります。

2 路網開設



木材を効率よく搬出するため、路網を開設します。勾配や水の流れ、岩がないか等をふまえて調査後、重機を使って開設していきます。
(使用機械：バックホー)

3 伐倒



選木した木を伐採します。

(使用機械：チェーンソー又はハーベスタ)

4 集材(木寄せ)



伐倒した木にワイヤーを掛け、路網の際へ集めます。

(使用機械：グラブプル等)

5 造材



集材した木の曲りや腐れを確認し、枝払い、3～4mに玉切りします。

(使用機械：プロセッサ・ハーベスタ等)

6 搬出



造材した木をトラックが取りに来る土場まで運び出します。

(使用機械：フォワード)

7 トラック運搬



大型トラックで原木市場やチップ工場へ運びます。

完了



林内に光が差し込む、明るい山になりました！

(※山の形状や形質によって工程は変わることがあります。)

当組合では、国の補助金等を活用し、上記の搬出間伐事業を推進しております。補助対象となるためには要件等（面積、木の成立本数、林齢など）もありますが、
まずはお気軽に森林組合へご相談ください！！

森林組合系統運動

森林組合系統では、おおむね5年に1度、系統全体の運動方針を策定してきました。森林環境譲与税や森林経営管理制度等の新たな仕組みが始まったことや、SDGsの最終目標年次が令和12（2030）年であることを踏まえ、新運動においては令和12（2030）年の夢・目指す姿を策定し、その達成に向けて取組を進めます。

JForest ビジョン2030 全国統一目標

～地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向けて～

森林環境税が広く国民から徴収される中、森林組合系統は地域の森林整備の主たる担い手として、森林環境譲与税の活用に協力しつつ、引き続き適切な森林の利用・保全を通じて森林の持つ公益的機能の維持・増進を図り、SDGsの達成に貢献していく。その上で、先人たちが植えた人工林が成熟期を迎えた今こそ、系統を挙げて、持続可能な林業経営を通じて、以下の3つの課題に取り組むこととする。

🌲 組合員サービスの向上

🌲 働く人の所得向上・就業環境改善

🌲 事業拡大・効率化による経営の安定

▷ 具体的な取組 …5つの項目を一体にすすめ、上記を達成する。



当組合におきましても「JForest 福岡県広域森林組合ビジョン2030」を策定し（令和3年度第5回理事会承認）、目標達成に向けて取り組みます。

大木・高木等の樹木のことでお困りの方はご相談ください!

当組合では、山林だけでなく、住宅や道路等の支障木伐採や草刈作業も行っています。

草刈

伐採

枝打

剪定

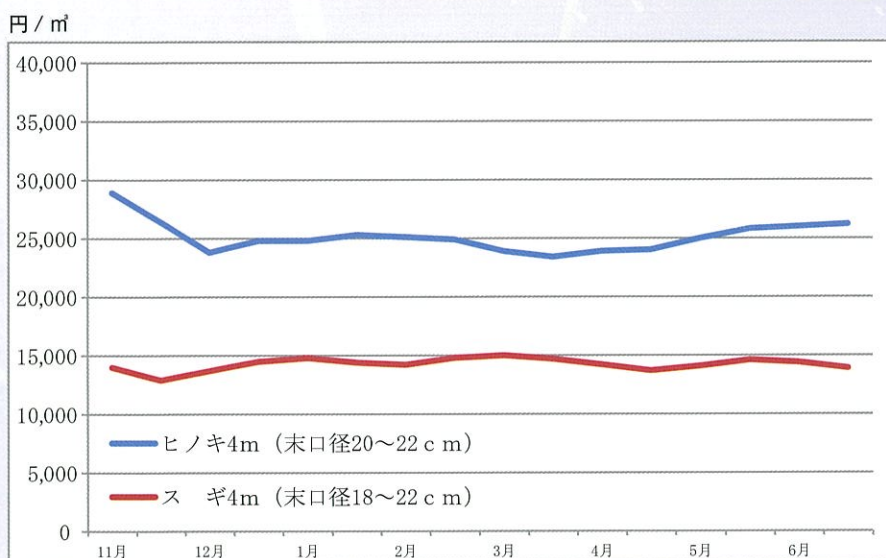
などなど…

お近くの支店支所にご相談ください。**無料でお見積り**させていただきます。

施工事例



スギ・ヒノキ木材価格の推移 (福岡県森林組合連合会 浮羽事業所市況より)



市況の動向

昨年春先の「ウッドショック」は、全国的に原木価格の高騰を招き、6月～8月にピークを迎え、年明けにかけて下落したものの高値水準で推移しています。住宅製材品としては、昨年来の世界的な木材不足に加え、原油価格高騰、急激な円高、ロシア・ウクライナ問題によるロシア材単板の輸入禁止など今年に入っても国産材製品価格は高止まりの傾向にあります。

森林組合からの原木出荷も順調に推移し、組合としても一昨年以来、5万m³超えの素材生産量を達成しました。

今後の原木価格の見通しとしては、秋需に向かって若干の値上がり傾向で推移していくものと思われます。